

# オホーツク地区 教育経営研究会

## I 運 営

- 1 目 的 学校教育に山積している課題を教育改革推進の視点から捉え直し、その解決に向けて法令と関連させながら解明に努め、校長としての職能向上を図る。
- 2 主 催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後 援 北海道教育庁オホーツク教育局
- 4 主 管 オホーツク管内小中学校長会
- 5 期 日 平成30年9月26日(水)
- 6 会 場 北見市端野町公民館 大会議室
- 7 参 加 者 オホーツク管内小中学校長会会員他(111名)
- 8 派遣役員 北海道小学校長会事務局次長 松村 聡 氏(札幌市立伏見小学校長)  
北海道小学校長会事務局幹事 西村 裕子 氏(札幌市立西野小学校長)  
北海道中学校長会事務局幹事 笹川 恒春 氏(札幌市立発寒中学校長)
- 9 司会・記録 【司 会】 小清水町立小清水中学校長 齊藤 修  
【記 録】 遠軽町立東小学校長 佐々木 浩二  
【進 行】 網走市立第五中学校長 小路 典弘
- 10 日 程 13時00分～13時20分 開 会 式  
13時20分～14時40分 教育情勢報告  
14時50分～16時20分 研 究 協 議  
16時20分～16時30分 閉 会 式

## II 研究協議

### 1 教育情勢報告【北海道小学校長会事務局次長 松村 聡氏】

- (1) 北海道小学校長会と北海道中学校長会の主な活動紹介
- (2) 特別の教科道德の評価について
- (3) プログラミング教育の推進について
- (4) 学校職員の働き方改革について
- (5) 全国学力・学習状況調査について

### 2 各市町村校長会の実践報告と要望

#### (1) 平成30年度当初人事【小清水町・大空町・津別町】

- ・早期の情報提供が必要、欠員状態の早期解消が課題となっている。
- ・赴任旅費の相場に乖離がある。内示が遅いため引越し業者を確保出来ないことがある。
- ・部活動担当への配慮、免許外教科担当者の解消が課題である。

#### (2) アクション・プラン【置戸町・佐呂間町・紋別市】

- ・学校閉庁日を設定し教育長名で文書配布した。部活動休養日や定時退勤日も設定。
- ・管内統一した取り組みが必要である。部活動休養日は弾力的に取り組めないだろうか。

#### (3) コミュニティ・スクール【斜里町・清里町・興部町】

- ・町内で課題を共有し解決を図っている。
- ・地域に根ざした教育活動の推進のために学校運営協議会の役割をより明確する必要がある。



・学校だけではなく、関係機関や地域・保護者が理解・関心をもち制度を知る必要がある。

(4) 道徳科の実施状況【訓子府町・湧別町・雄武町】

- ・教科書による授業は順調に進んでいる。
- ・校内研究において授業の質の向上と評価の在り方について取り組んでいる。
- ・指導要録については「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に記載する。

(5) 保護者を対象とした説明等の業務の勤務割振【網走市・滝上町・西興部村】

- ・「業務として該当する条件」や「内容の押さえ」について共通理解を図った。
- ・学校管理規則に記載され、学校の実態に応じて対応している。
- ・対象となる業務を明確にして職員に示している。

(6) その他【北見市・美幌町・遠軽町】

- ・主幹教諭を自校から昇任させるのが困難。他校からの配置や異動を考慮していただきたい。
- ・次年度の全国学力・学習状況調査の変更内容の情報を早期に下ろしていただきたい。
- ・複数の新採用者が配置された場合、それに見合った非常勤講師の活用を認めていただきたい。

### 3 質問に対する解答

(1) 北海道中学校長会から【事務局幹事 笹川恒春氏】

①北海道アクション・プランの成果と課題について

- ・4つのアクションについての成果を紹介。
- ・道教委としては、上半期終了と同時に取組の状況に関する情報を収集し、先進的な事例として周知していく予定である。

②カリキュラム・マネジメントの実践事例について（教育実践報告集を参照のこと）

③学校職員人事評価において公正公平な評価を行うための具体策

過去の実績に捕らわれないことや具体的に記述して評価することが重要である。

(2) 北海道小学校長会から【事務局幹事 西村裕子氏】

①校長としての再任用や定年退職延長についての見通しについて

平成33年度から3年ごとに定年を1歳ずつ延長させ、平成45年度には65歳とする国家公務員法の改正が平成31年度の通常国会において提案される見通しである。

②コミュニティ・スクールを円滑に導入させる方策について

高齢化が問題となっている地域が多く、世代交代をしても機能する仕組みを構築するとともに若い世代の参加を促すことが重要である。

③北海道における教員養成指標の推進に関わる今後の見通し～今後具体策が示される

## IV まとめ 【北海道小学校長会事務局次長 松村 聡氏】

各市町村の校長会から出された課題や要望事項は、「本道教育の一層の充実に向けた教育条件の整備についての提言」に書かれているものと共通しているものが多くあった。次年度の要望書作成に向けても、皆さんからのご意見・ご要望を反映させられるよう努めていきたい。

今、各校では働き方改革を推進しているが、これは教育活動の本質を見極める営みであり、その中でも最も大切にしなければならないのが授業である。よい授業を通して子どもを育てることが私たち教師の根幹であり、そのための時間を作ることを目指して意識改革を進めることが重要である。校長としての主体性をもって取り組んでいただきたい。